

天草の未来を担う子どもたちからの メッセージ



天草市立五和中学校
3年 井上 美来 さん

私は、五和町が大好きです。学校からの帰り道に地域の方々が「お帰り」と声をかけてくださいます。私にとって、五和全体が家族のような温かい存在です。登下校中にスクールバスか

ら外を眺めるとイルカが見えることもあります。そんな私たちの町には、イルカセンターが建設されます。このことにより観光客が増加し、今よりもっと町が活性化するとしたら、それはとても嬉しいことです。しかし、観光客が増えるということは私たちの町のゴミも増えてしまうかもしれないということです。いま五和中学校では、ボランティアの一環で海岸のゴミ拾いをしています

海のゴミを見ると、このゴミがイルカの生態に影響するのではないかととても心配です。私は、天草の美しい自然を守りながら今よりもっと活気あふれる温かい町にして欲しいです。そして、ボランティア活動に参加する人がたくさんいて、イルカを守るためにも自然と共存できる天草市であって欲しいと願っています。



天草市立河浦中学校
2年 森田 葵衣 さん

私は、昨年の7月から講習を5回受けて、10月に新ボランティアガイドとして、デビューしました。

このボランティアガイドに参加しようと思った理由は、二つあります。一つ目は、現在、ボ

ランティアガイドとして活躍されている先輩たちの姿を見て、私もチャレンジしてみたいと思ったからです。二つ目は、昨年、崎津集落が世界文化遺産として登録され、もっと私も崎津集落のことを知り、地域に貢献していきたいと思ったからです。ボランティアガイドを行ってみて、観光客の皆さんをお迎えしたときは、緊張や不安な気持ちで一杯でしたが、パネルを思い通りに使って、練習通りに説明することができました。その日に観光客の方々から、帰りに

「ありがとうね。」「また来るけんね。」と声をかけていただき、とてもやり甲斐を感じました。これからもガイドを行う中で、沢山の観光客の方々にとって、思い出に残るようなガイドをしていきたいと思っています。ボランティアガイドを通して、世界文化遺産である崎津集落の素晴らしさを伝えていきたいと思っています。ただ、今後もボランティアガイドを引き継いでいくには、私たちだけの力ではできません。天草市の関係の皆様のご協力をお願いします。

編集後記

12月21日で閉会した第6回定例会は、「平成」最後の年末に開かれる定例市議会でした。昨年に続き全国的には自然災害の多い一年間だったことに印象付けられ、地球温暖化防止に官民挙げた様々な取り組みが期待されています。

所属する市民生活常任委員会が、先進地視察で訪問した京都市では、「しまつのこころ条例」なるゴミ出しのルール化が、一般家庭のみならず、事業所にも徹底されていて、分別の徹底と、燃やすごみの減少が肝要と再学習しました。市民社会が、一時の損得勘定(感情)だけでなく、住み続けられる地球環境の維持保全に協力していくことが優先されたいと思っています。(蓮池良正)

広報広聴委員会



蓮池良正



副委員長
下田昇一郎



委員長
柴田 誠



門口 徹



五通俊作



鶴戸継啓



濱洲大心